

平成25年7月19日

ボツワナ共和国との地デジ分野の協力に関する覚書の署名

～地デジをきっかけとした日本企業の進出支援にむけて～

平成25年7月17日、新藤総務大臣は、来日したボツワナ共和国マシシ大統領府公共政策担当大臣との間で会談を行い、地上デジタルテレビ放送分野において日本とボツワナ共和国の間で協力関係を構築していくことで合意し、覚書に署名いたしました。

覚書の概要は以下のとおりです。

1 覚書の背景

- (1) 本年2月、ボツワナ共和国政府は、同国の地上デジタルテレビ放送の方式として、日本方式（ISDB-T方式）の採用を決定した。アフリカでは初の日本方式の採用となるもの。
- (2) 情報通信及び放送分野における日本国とボツワナ共和国（以下「ボツワナ」という。）の両国の協力は、ボツワナの発展に大きく貢献するとともに、人材、技術、文化、経済など多様な面における両国の関係強化につながるものであること。

2 覚書の骨子

(1) 共同作業部会の設置

- ボツワナにおける地上デジタルテレビ放送の円滑な導入のために、総務省及びボツワナ政府大統領府による共同作業部会を設置。

(2) 技術移転・人材育成

- ボツワナにおける地上デジタルテレビ放送の円滑な導入のため、総務省は、関係機関及び民間企業等との協力により、技術移転及び人材育成の支援を行う。
- ISDB-T方式を利用したデータ放送に関して、大統領府は、総務省によって提供されるデータ放送分野の人材育成プログラムを歓迎し、これに協力する。
- 総務省及び大統領府は、地上デジタルテレビ放送を活用したボツワナ国内での遠隔教育システムや電子政府システム、医療情報伝達システム、防災のための緊急警報システム等の導入・発展に対して、日本企業が関心を有していることを歓迎し、大統領府は、日本企業に対して必要な助言及び支援を行う。

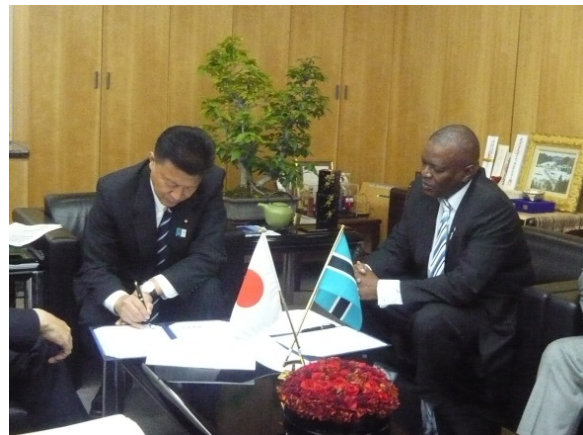
(3) 日本企業の進出に向けた支援

- 総務省及び大統領府は、地上デジタルテレビ放送分野における日本企業のボツワナ市場への進出を歓迎。

(4) 文化面での関係強化

- 総務省及び大統領府は、両国間の文化面での交流が促進されることを期待。

<覚書署名式の模様>



新藤大臣との会談及び署名式の模様

<関連報道発表資料>

○ボツワナ共和国における地上デジタルテレビ放送日本方式採用の決定（平成 25 年 2 月 27 日）

URL: http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin08_02000012.html

○グアテマラ共和国における地上デジタルテレビ放送日本方式採用の決定（平成 25 年 6 月 3 日）

URL: http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin08_02000017.html

(連絡先)

情報通信国際戦略局国際経済課 担当：中川補佐、井出専門職 電話：03-5253-5928 FAX：03-5253-5930 電子メール: infra_iead@ml.soumu.go.jp	情報流通行政局放送技術課 担当：佐々木補佐、乾係長 電話：03-5253-5784 FAX：03-5253-5788 電子メール: btd_i@ml.soumu.go.jp
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※ スпамメール防止のため @を全角表記にしております。

送信の際には恐れ入りますが、半角に修正の上、お送りいただきますようお願いいたします。